

令和3年2月4日

令和3年度入寮希望学生及び保護者のみなさま

豊田工業高等専門学校
副校長（寮務担当） 金坂 尚礼

学寮建て替えに伴う入寮定員数の縮小について

平素より、本校学寮の運営に関し、御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、文部科学省から国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業が国会に提出され、令和2年度補正予算事業として、栄志寮の建て替えを令和3年度に実施することが決定いたしました。

栄志寮は本校で最初に建てられた学寮であり、昭和39年度に造築されてから57年が経過し、増築、内部改修、耐震補強工事等を経て現在に至っておりますが経年劣化による老朽化は否めず、学寮の建て替えは本校が切望するところでもあります。

つきましては、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、定員数を大幅に減らして運用しているところですが、令和3年度は栄志寮の使用ができなくなり、さらに入寮定員数を縮小して運用することとなりました。そのため、募集時にお知らせしておりました男子高学年寮生（新3年生から新5年生）の入寮定員は80名程度から35名程度となります。令和3年度に学寮への入寮を希望している方には誠に申し訳ございませんが、御理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、入寮定員数の縮小により、例年以上に自宅からの通学が難しい方でも学寮への入寮ができない場合があります。入寮選考にあたりましては豊田高専入寮選考内規（学生便覧に記載）に基づき、通学の困難度、共同生活における指導力及び協調性、クラブ活動参加による生活の充実度、学業成績の優秀性等を総合的に判断して入寮候補者を決定します。そのため、通学の困難度だけをもって入寮できるとは限りませんので御承知おきください。

自宅からの通学が難しいにもかかわらず入寮選考からはずれてしまった場合は、金銭的負担をお願いして申し訳ございませんが、自動車等による通学（新3年生以上で自動車等使用許可願を提出し許可を得ている学生に限ります）や本校近隣アパートを借りられる等を御検討くださいますようお願いいたします。

また、現在本校では国際寮として新たな学寮を1棟建てており、令和3年度後学期から使用できる見込みとなっています。国際寮完成後は補充選考において年度途中から入寮できる場合がありますことを申し添えいたします。

（担当部署）

豊田工業高等専門学校
学生課寮務係

TEL 0565-36-5973 FAX 0565-36-5970

E-mail:ryoumu@toyota-ct.ac.jp